

三大学合同地方会

日本泌尿器科学会
第110回 山梨地方会
第401回 新潟地方会
第204回 信州地方会

令和4年6月18日 午後2時開始
ホテルブエナビスタ(松本市)

開催概要

学術大会 日 時：令和4年6月18日（土） 午後2時00分
会 場：ホテルブエナビスタ 3階「グランデ」
〒390-0814 松本市本庄1-2-1 TEL：0263-37-0111
現地およびWeb配信によるハイブリッドにて開催いたします。
参加費：3,000円
Web参加の先生は、事前に銀行振込にてお支払いをお願いいたします。

振込先 口座名義：日本泌尿器科学会甲信越合同地方会 (ニホンヒニョウキカガツカイコウシンエツゴウドウチホウカイ) 銀行名：八十二銀行 支店名：信州大学前支店 店番号：421 普通預金 口座番号：478468
--

※参加費のお支払いは、6月16日（木）までをお願いいたします。
※当日、急遽ご参加いただきました先生におかれましては、後日参加費のお振り込みをお願いいたします。

親睦ゴルフ 日 時：令和4年6月19日（日）
会 場：塩嶺カントリークラブ
〒399-0651 塩尻市大字北小野4956 TEL:0263-56-2211

- * 本会参加により、専門医認定単位を取得することができます（機構専門医更新用2単位）。
- * 発表6分、討論3分です（時間厳守をお願いします）。
- * プレゼンテーションはWindows Power Pointのみ受け付けます（枚数制限なし）。
- * Web発表の方は別途ご案内しましたが、予め音声入りスライドを事務局宛にお送りください。
- * 現地発表の受付時間は13:00~13:30までとします。データはUSBメモリーにてご持参ください。
- * 信州地方会会員は、抄録（400字以内）を当日までに事務局へお送りください。
- * **日本泌尿器科学会会員の先生は、必ず会員カードをご持参ください。**
- * 懇親会は行いません。

〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1
信州大学医学部泌尿器科学教室内

日本泌尿器科学会 信州地方会事務局

TEL：0263-37-2661 FAX：0263-37-3082

E-mail：urology@shinshu-u.ac.jp

皆川倫範

<Web 参加について>

- * ZoomにてLive 配信を行います。
- * Web 参加の場合、日本泌尿器科学会の規程により、参加単位取得には開催時間の1/2以上の地方会参加（視聴）が必要です。
- * 視聴時間および参加費納入の確認後、参加証をお送りいたします。地方会の視聴時間が1/2に満たない場合および参加費納入が確認できない場合は、参加証をお送りできませんので予めご了承ください。
(7月末日までに参加証が届かない場合は、ご連絡をお願いいたします)
- * Zoomに入る際に、メールアドレス、名前(所属・氏名)を入力し、ログインしてください。
当日、急遽ご参加いただきました先生におかれましては、所属・氏名を確認するため、メールアドレスへお問い合わせをさせていただくことがあります。
- * 発行された参加証を専門医認定更新申請時に添付してください。自動登録されません。

Web 視聴は下記 URL より

メールアドレス・名前(所属・氏名)を入力し、ログインしてください

※ミーティング ID、パスコードは必要ありません

(セミナーは Teams での配信となりますので、専用 URL よりログインしてください)

<https://us02web.zoom.us/j/85301404378>

- * 地方会終了後、甲信越泌尿器疾患セミナーを開催いたします。
セミナーは Teams での配信となりますので、ログインし直してください。
(詳細は別紙をご参照ください)

<奨励賞の投票方法について>

奨励賞(各地方会賞: 山梨、新潟、信州)は卒後10年目までの発表者が対象となります。選考資格者は、全演題を聴取した方に限られます。

全演題終了後、各地方会から1題を選び投票をお願いいたします。

現地参加の方は、当日投票用紙にて投票をお願いいたします。

Web参加の方は、信州地方会事務局(urology@shinshu-u.ac.jp)へ6月20日(月)正午までにメールにて投票をお願いいたします。

発表は後日とさせていただきます。受賞された先生へは後日、賞状等をお送りいたします。

プログラム

<開会の辞> 14:00 ~ 14:05

石塚 修 (信州大学)

<セッション1> 14:05 ~ 15:15

座長 原 寛彰 (信州大学)

【奨励賞候補演題・信州】

1. リンパ管造影が奏功した生体移植後リンパ嚢腫の1例

信州大学医学部 泌尿器科学教室

長田真季、皆川倫範、原 寛彰、増山玄天、小川輝之、石塚 修

術後のリンパ管嚢腫に対しては、開窓術などが検討されることが多い。今回我々は、生体腎移植後に認めた骨盤腔内のリンパ管嚢腫において、リンパ管造影が著効した。文献的考察を加え報告する。

【奨励賞候補演題・山梨】

2. 腎に発生した神経内分泌腫瘍の2例

山梨大学大学院総合研究部 泌尿器科学講座

楠田麻友子、相川純輝、花輪和司、梶村光貴、古屋良太、井原達矢、澤田智史、三井貴彦

非常に稀である腎に発生した神経内分泌腫瘍の2例を経験した。症例1は41歳女性で腎原発と考えられ、症例2は66歳男性で直腸または膵原発の転移と考えられた。文献的考察を加えて報告する。

【奨励賞候補演題・新潟】

3. 治療に難渋した閉塞性腎盂腎炎の1例

柏崎総合医療センター 泌尿器科

石田恭平、若杉優樹、羽入修吾

69歳女性。難治性腎盂腎炎で紹介され受診。下極動脈による水腎症があり、尿管ステントを留置。多剤耐性菌の検出あり抗菌薬を変更。軽快と再燃を反復。腎瘢痕多数のため腎摘除術を行った。

【奨励賞候補演題・信州】

4. 当院における前立腺癌に対するBRACAnalysis®およびオラパリブ投与症例の検討

長野市民病院 泌尿器科

尾沼 弘、井 世奈、松高 淳、羽場知己、山本哲平、飯島和芳、加藤晴朗

当院でのBRACAnalysis®は27例中3例が陽性となり、その2例に対してオラパリブを投与した。治療抵抗性だったが、オラパリブ投与によりPSA低下、転移巣の縮小を認めた。その後の経過についても報告する。

【奨励賞候補演題・山梨】

5. 当院における BCG 膀胱内注入療法の治療状況について
山梨大学大学院総合研究部 泌尿器科学講座
中西嘉浩、楠田麻友子、中山敬登、花輪和司、望月恵音、土田哲司、武藤竜也、志村寛史、大竹裕子、望月孝規、吉良 聡、澤田智史、三井貴彦
BCG 膀胱内注入療法に対する反応性が腫瘍学的転機に与える影響を検討した。当院では 2012 年 2 月～2022 年 2 月の間に 209 名の患者に BCG 導入療法を実施した。当院における過去 10 年分の治療成績を取りまとめて報告する。

【奨励賞候補演題・新潟】

6. Renal oncocytosis の 1 例
1) 長岡赤十字病院 泌尿器科、2) 新潟県立中央病院 泌尿器科
佐波達朗¹⁾、乾 幸平²⁾、黒木大生¹⁾、鈴木一也¹⁾、米山健志¹⁾
70 歳女性。CT で両側多発腎腫瘍を指摘され当科初診。PET-CT を含む画像所見から oncocytoma の疑い。腹腔鏡下左腎部分切除術が施行され病理学的に oncocytoma の診断。術後約 4 か月、画像上著変なし。多発する oncocytoma および oncocytosis について、若干の文献的考察を含め報告する。

【奨励賞候補演題・信州】

7. 精巣捻転における MRI 検査の診断的意義についての検討
1) 長野赤十字病院 泌尿器科、2) 北信総合病院 泌尿器科
高澤拓哉¹⁾、栗田繕雅²⁾、姫野正敬¹⁾、今尾哲也¹⁾、天野俊康¹⁾
精巣捻転症は、早急な診断と適切な治療が重要な泌尿器緊急疾患である。しかしながら、精巣超音波検査をはじめ、診断は医師の技量に左右され得る。今回我々は、精巣捻転における MRI 検査の有用性について検討した。

休憩 5分

<セッション 2> 15:20 ~ 16:30

座長 星井達彦 (新潟大学)

【奨励賞候補演題・信州】

8. 当院における経尿道的前立腺吊り上げ術の治療経験
北信総合病院 泌尿器科
栗田繕雅、平形志朗、杵渕芳明
前立腺肥大症に対する UroLift システムを用いた経尿道的前立腺吊り上げ術が保険収載された。当院では 3 名の尿閉患者に経尿道的前立腺吊り上げ術を施行し排尿可能となった。文献的考察を加えて報告する。

【奨励賞候補演題・山梨】

9. 山梨大学における転移性腎細胞癌に対するペムブロリズマブ＋アキシチニブ併用療法の初期治療経験

山梨大学大学院総合研究部 泌尿器科学講座

花輪和司、澤田智史、中山敬登、望月恵音、相村光貴、古屋良太、相川純輝、望月孝規、吉良 聡、三井貴彦

当院で2020年1月より転移性腎細胞癌に対してペムブロリズマブ＋アキシチニブ併用療法を施行した5例について治療効果、有害事象を含めた初期治療経験を報告する。

【奨励賞候補演題・新潟】

10. 左腎尿管全摘除術を含む集学的治療により治癒できた左尿管癌、膀胱癌症例の経験

1) 新潟大学地域医療教育センター魚沼基幹病院 泌尿器科、2) 同 放射線診断科、3) 同 病理診断科

中村涼太¹⁾、原 昇¹⁾、西山 勉¹⁾、池田洋平²⁾、長谷川剛³⁾

84歳男性。左尿管癌、右尿管口部膀胱癌を認め、TUR-BT 後腎後性腎不全となり右腎瘻造設術、G-CBDCA 4コース後、左腎尿管全摘除術をおこなった。膀胱内表在性再発を認め、BCG膀胱内注入療法後、ペムブロリズマブ療法により治癒できた。

【奨励賞候補演題・信州】

11. 膀胱瘻近傍に再発した尿道扁平上皮癌の1例

信州大学医学部 泌尿器科学教室

筒井昌太郎、皆川倫範、原 寛彰、増山玄天、岸蔭貴裕、小川輝之、石塚 修

原発性尿道癌は稀で、臨床像は明らかでない。今回我々は、尿道全摘を行った尿道扁平上皮癌の症例で、膀胱瘻近傍に転移を認めた。高い播種能が示唆される病態で、文献的考察を加えて報告する。

【奨励賞候補演題・山梨】

12. 排尿予測デバイス DFree®の精度検証に関する探索的研究：既存の測定機器との比較

1) 山梨大学大学院総合研究部 泌尿器科学講座、2) 同 看護学科、

3) トリプルダブリュージャパン

望月恵音¹⁾、花輪和司¹⁾、中山敬登¹⁾、相村光貴¹⁾、古屋良太¹⁾、相川純輝¹⁾、澤田智史¹⁾、吉良 聡¹⁾、土屋幸子¹⁾、谷口珠実²⁾、正森良輔³⁾、上杉悠気³⁾、中西敦士³⁾、三井貴彦¹⁾

新規膀胱容量測定機器である DFree®による精度を検証するため、従来の膀胱測定機器と比較検討を行った。測定値は従来の機器の結果と強い相関が見られ、今後の臨床への応用が期待された。

【奨励賞候補演題・新潟】

13. クロスマッチ陽性にて脱感作療法施行後、生体腎移植を行うも急性拒絶反応を呈した1例
新潟大学大学院医歯学総合研究科 腎泌尿器病態学分野
若杉優樹、池田正博、安楽 力、田崎正行、齋藤和英、富田善彦
症例は62歳女性 (AB型)。糖尿病腎症および慢性腎炎による慢性腎不全に対して夫 (A型) をドナーとする preemptive 血液型不一致生体腎移植を希望された。術前のクロスマッチ試験にて抗ドナー抗体が陽性であり、免疫学的ハイリスク症例だったため、20XX年2月より血漿交換ならびに免疫グロブリン静注療法による脱感作療法を行い、4月に生体腎移植を施行。術後3日目、腎機能と移植腎血流の悪化を認め、5日目の移植腎生検では抗体関連型拒絶反応およびT細胞性拒絶反応の診断であった。ステロイドパルス療法と血漿交換、抗ヒト胸腺ウサギ免疫グロブリン療法を行った。クロスマッチ陽性症例に対する生体腎移植後の急性拒絶反応について文献的考察を交えて報告する。

【奨励賞候補演題・信州】

14. 結石溶解療法が奏功した尿路結石症の3例
1) 諏訪赤十字病院 泌尿器科、2) 長野市民病院 泌尿器科
松田 陽¹⁾、井 世奈²⁾、大池 洋¹⁾、小川典之¹⁾、清河英雄¹⁾
クエン酸製剤は尿のアルカリ化などにより結石形成を抑制することが知られている。今回、クエン酸製剤の内服のみで尿路結石が消失した3症例を経験したため、文献的考察を踏まえて報告する。

休憩 5分

<セッション3> 16:35 ~ 17:35

座長 望月孝規 (山梨大学)

【奨励賞候補演題・信州】

15. ゲムシタビン関連偽蜂窩織炎を生じた1例
長野市民病院 泌尿器科
井 世奈、山本哲平、尾沼 弘、松高 淳、羽場知己、飯島和芳、加藤晴朗
49歳男性。膀胱癌術後、骨転移 (cT3aNOM1b, StageIV) に対し術後化学療法、免疫チェックポイント阻害薬を使用した。PDでありゲムシタビン単独治療を開始。左下肢にゲムシタビン関連偽蜂窩織炎を繰り返した症例を報告する。

【奨励賞候補演題・山梨】

16. 感染性リンパ嚢腫後に移植腎動脈狭窄を生じ急性腎不全に至った1例
自治医科大学腎泌尿器外科学講座 腎臓外科学部門
須田遼祐、片野 咲、大山雄大、南園京子、西田 翔、広瀬貴行、佐々木元、石川暢夫、岩見大基
移植腎動脈狭窄は移植腎の1-23%に発生し腎血管性高血圧やAKIを生じる。リンパ嚢腫感染後に移植腎動脈狭窄によるAKIで透析まで至ったものの、経皮的血管形成術で改善した症例を報告する。

【奨励賞候補演題・信州】

17. 両側腎門部に腫瘍形成を認めた後腹膜線維症の1例

1) 飯田市立病院 泌尿器科、2) 信州大学医学部附属病院 泌尿器科、
3) 愛知医科大学病院 眼形成・眼窩・涙道外科

鈴木智敬¹⁾、皆川倫範²⁾、中藤 亮¹⁾、山下俊郎¹⁾、高橋靖弘³⁾

後腹膜線維症はIgG4関連疾患の一形態とされる疾患である。今回我々は両側眼窩腫瘍精査中、両側腎門部に腫瘍を認め、ステロイド治療が奏功した症例を経験した。文献的考察を加えて報告する。

18. 急速増大を示す腎癌の多発転移に対して Nivolumab-Cabozantinib 併用療法が画像上奏効した1例

新潟大学医歯学総合病院 泌尿器科

晝間 楓、星野さや香、鳥羽智貴、信下智広、丸山 亮、星井達彦、小原健司、富田善彦
腎癌術後3年目に全身転移を指摘された38歳男性。1か月間で病変が急速増大し、CTにて脳転移によるmidline shiftが出現、さらに胸椎転移による下肢麻痺を来した。Nivolumab-Cabozantinib併用療法を開始し画像上PRを維持したものの、受診から7か月後に死亡した。

19. 東信地域における腹圧性尿失禁に対する骨盤底筋訓練個別指導の医療連携に関して

1) 浅間総合病院・軽井沢病院・佐久総合病院 泌尿器科、2) 佐久総合病院 泌尿器科
山ノ井万里子¹⁾、須田紗代²⁾、柏原 剛²⁾

限られた外来診療時間内で泌尿器科医自らが骨盤底筋体操の方法を説明する事は困難である。東信地域における腹圧性尿失禁に対する骨盤底筋訓練個別指導の医療連携に関して報告する。

20. PTFE メッシュによる TVM 手術の再発症例の検討

佐久総合病院 泌尿器科

須田紗代、柏原 剛

2019年5月より第3世代のPTFEメッシュによるTVM手術を開始した。2022年4月までに施行した112例のうち4例(3.6%)に認めた再発症例について検討・考察した。

<閉会の辞> 17:35 ~ 17:45
新人紹介

甲信越泌尿器疾患セミナー 18:00 開始予定

セミナーはTeamsでの配信となりますので、専用URLよりログインしてください

甲信越泌尿器疾患セミナー

日時

2022年6月18日(土) 18:00~19:30

場所

ホテルブエナビスタ
〒390-0814 長野県松本市本庄 1-2-1 TEL: 0263-37-0111

参加
方法

- ① 本会場の場合
 - ・ 感染対策を考慮し、ソーシャルディスタンスに配慮した設営としております
- ② オンラインでご聴講の場合：Microsoft Teamsを利用した配信いたします
 - ・ ご視聴用URL：[セミナーに参加](#)（←こちらをクリック下さい）
 - ・ 開催当日の問い合わせ窓口
アステラス製薬株式会社 固形がん第1営業部 第8グループ 大枝 稔
メールアドレス：minoru.oeda@astellas.com TEL: 090-5500-4442

Program

【Session 1】 18:00~18:45

『 転移性尿路上皮癌における新たな治療戦略 』

座長 富田 善彦 先生 新潟大学特命理事 医歯学総合病院長 泌尿器科 教授

演者 榎田 英樹 先生 鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 腫瘍学講座 泌尿器科学分野 教授

【Session2】 18:45~19:30

『 male/female LUTS治療のトレンド 』

座長 三井 貴彦 先生 山梨大学大学院総合研究部 泌尿器科学講座 教授

演者 高橋 悟 先生 日本大学医学部 泌尿器科学系泌尿器科学分野 主任教授

ご視聴方法のご案内

当日はMicrosoft Teamsを利用した配信を予定しております。
端末・回線状況によって正常に視聴できない場合がございますこと、予めご了承ください。
ご不明な点は弊社担当MRまたは下記窓口までご連絡ください

視聴ページへのアクセス

ご視聴用URLよりご入室をお願いいたします

- ① 「セミナーに参加」から視聴ページへアクセスください。
- ② 入室時に「ご所属の施設名+ご氏名」を入力し、入室ください。

※ ご氏名、ご所属施設等の情報は、本会の運営及び本会に付随する業務にのみ使用させていただきます。

初めてMicrosoft Teamsをご利用になられる場合

下記の①、②のいずれかからご参加ください。

(イメージ)

- ① 「Windowsアプリをダウンロードする」
- ② 「Microsoft EdgeでTeamsを利用する」

② 「Microsoft EdgeでTeamsを利用する」を選択
いただくと、ダウンロードやインストールの必要なく
ご参加いただけます



お問い合わせ窓口

アステラス製薬株式会社 固形がん第1営業部 第8グループ
大枝 稔

メールアドレス: minoru.oeda@astellas.com

TEL: 090-5500-4442 FAX: 0120-223-127